

平成24年度
実施事業

事務事業名	新産業創造活動事業補助金
-------	--------------

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	1	新たな事業展開の促進
主要な施策	2	②新分野進出への支援
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 15 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	新製品等の創出に向けた団体等の活動を支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	地域の特性や技術などを活用した新技術、新製品、新サービス等の研究・開発事業を行う団体等の活動に対して、その要する経費の一部を補助する。 【事業内容】 補助率 2分の1 補助上限額 30万円
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	新製品等の開発を促進し、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き、地域資源の活用による商品開発の研究等を行う団体等を対象に補助金を交付する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市新産業創造活動事業補助金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	0	600	0	0
事業費 合計			0	0	600	0	0

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 補助金交付件数	件	目標値	2	2	2		
			実績値	0	0			
	② 新技術等の開発成功件数	件	目標値	2	2	2		
			実績値	0	0			

比較		《Check》
<p>平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該補助事業への申請がない状況である。 ・三者以上が連携して事業をおこなう必要があるなど、活用条件が厳しい状況がある。 	<p>左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの広報紙やホームページに加え、商工会議所等に周知への協力を依頼する。 ・関係団体や事業者等からの声を聞きながら、制度の改廃について検討したい。 	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<input type="checkbox"/>	① 市が主体に行うべき事業である	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>(公財)室蘭テクノセンターが実施する「ものづくり創出支援事業」と類似している。</p>
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input checked="" type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>中小企業等で組織する団体等が新技術、新製品、新サービスを創出するために行う研究、技術開発などの取り組みに要する経費の支援であり、新産業の創造を促進し、市内経済の活性化を図るためには必要性が高い。</p>
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input checked="" type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<input checked="" type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>最近の申請件数は低調であるが、以前に申請のあった商品が、現在も、登別温泉の定番のお土産として販売されている。</p>
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>平成18年度以降、申請がない状態が続いていることから、成果の把握は難しい。</p>
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input checked="" type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

改善	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p> <p>新技術等の開発に取り組む中小企業者等の団体に財政的支援を行うことにより、市内における複合産業の基盤構築、新産業の創造が促進されるが、(公財)室蘭テクノセンターが実施する「ものづくり創出支援事業」と一部重複が見られることから、ニーズ調査を実施する等により、事業の改廃を含めて検討したい</p>
----	--

②行政評価会議による評価 《Check》

廃止	<p>備考</p> <p>本事業については平成25年度で廃止することとし、産業の活性化に向けた新たな事業の構築を検討すること。</p>
----	---

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

廃止	<p>備考</p> <p>本事業については平成25年度で廃止することとし、産業の活性化に向けた新たな事業の構築を検討すること。</p>
----	---

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)